

Discussion Paper Series

No. 17

企業の利益調整行動に関するゲーム理論的分析  
－利益調整コストの観点から－

行待三輪 (Miwa Yukimachi)

大倉真人 (Mahito Okura)

2020年7月 (July 2020)



*The Society of  
Education & Research  
in Management*

*Kyoto Sangyo University*

## 企業の利益調整行動に関するゲーム理論的分析－利益調整コストの観点から－

行待 三輪<sup>+</sup>

大倉 真人<sup>++</sup>

### <論文要旨>

本論文では、企業が行う可能性のある 2 つの利益調整行動－商製品の押し込み販売などに代表される「正の利益調整行動」および有形固定資産の減損認識時期の調整などに代表される「負の利益調整行動」－について、ゲーム理論の枠組みを用いたモデル分析を行うことで、正の利益調整行動および負の利益調整行動が生じる状況について明らかにすることを主たる目的とするものである。

具体的には、短期的な投資家と長期的な投資家のケースを想定した上で分析を行い、長期的な投資家のケースにおいては短期的な投資家のケースとは異なり、(1) 企業がランダムに正の利益調整行動・負の利益調整行動を行う可能性、(2) 正の利益調整行動と負の利益調整行動が併存する可能性、(3) 会計規制等の強化によって利益調整コストを引き上げても正の利益調整行動が負の利益調整行動に変化するなどにとどまってしまう可能性、が存在することを明らかにした。

### <キーワード>

利益調整、会計報告、投資家、ゲーム理論

---

<sup>+</sup> 京都産業大学経営学部教授

Email: yukimachi@cc.kyoto-su.ac.jp

<sup>++</sup> 同志社女子大学現代社会学部社会システム学科教授

Email: mokura@dwc.doshisha.ac.jp